

# 萌黄 (もえぎ) 通信



みなさん、お元気ですか？

10月は衣替えの季節なのですが、まだまだ、汗ばむ日が多いですね。先日、富士山のふもと近くの現場をした時は、きっと

寒いに違いないと長袖の重ね着をしていったのに、汗のかき過ぎで2回も着替えをしたくらいです。今月は、少し体調不良の堀内貢次です。

みなさんも、季節の変わり目で風邪など引かぬようお気をつけ下さい。

## 「中央道で二重追突事故」

先月は、散々な月でした。9月初めに、都バスと接触事故に合い、更に、9月下旬には中央道で2重追突事故にも合いました(しかも、サンドされた状態で・・・)。私が追突されたのは4tトラックだから、写真の程度で済みまし、前にいたドライバーも、大けがにならなかったのが幸いで



した。ただ、一歩間違えたら、大惨事になっていたの、ラッキーな事故と実感しています。皆さんも、事故にはくれぐれも注意して下さい。



## 「築12年経ったシールのシミの除去」

今月の石材メンテナンスは、あるオフィスビルの本磨き仕様の白御影石の壁に出たシールのシミ抜き施工です。

一般的にシールからでたシミは、御影石のバーナー仕上げのタイプが多いのですが、今回のように、本磨きの場合、最初はシミは付きにくいのですが、一度入り込むと磨き上げているせいで目がしっかりと詰まっている分、抜けにくいという特徴を持っています。よって、シミ抜き時間が一層かかり、根気のいる作業になります。

まず、シミ部分の表面洗浄を行い、それから、ハクリ剤を塗布し更に湿布して、石目に入り込んだシールを除去します。

よく乾燥後に、それでも茶色く残っているシミ部分へは、今度は、アルカリ洗剤や、漂白剤を交互に塗布して、茶色の

変色部分を取り除いていきます。上記作業を3~4回ほど繰り返して何とか目立たないくらいに持ってくる事が出来ました。



1. シールシミ



2. シールハクリ剤塗布後湿布



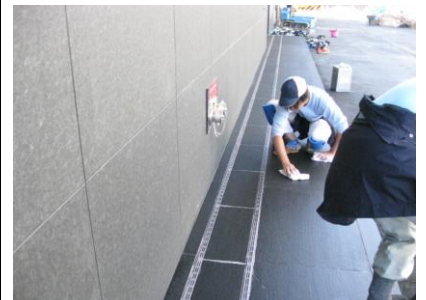
3. シミ抜き剤塗布



4. シミ抜き施工完了後

## 「黒御影石のコート塗布」

犬走り部分に黒御影石を貼ったのですが、歩行頻度が高く汚れやすいため、防汚を兼ねて、コート塗布の依頼が来しました。浸透性のコート剤塗布後、更に、フッ素系コートを上塗りして全体的に締まった感じに仕上げます。



(編集後記) 10月の下旬に、創業以降初めての税務調査が入ることになりました。仕事が忙しくて、なかなか準備に取り掛かれず、気持ちが落ち着かない状態です(-\_-)

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株)ケイ・アンド・エス 堀内貢次(ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) [info@e-kands.jp](mailto:info@e-kands.jp)